

親と子、孫の3世代に終活や相続対策を提供する

あすか税理士法人

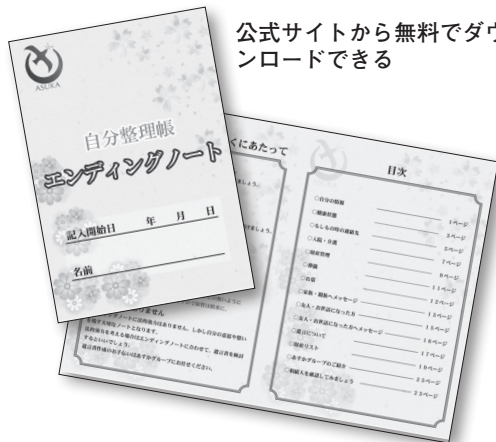
札幌市中央区大通西14丁目1-14 NEO B 1D・2階
TEL 0120-199-9000 <http://www.asuka-zeirishi.com/>

終活の認知度の高まりとともにトラブルも増加。自己流の終活で望んだ結果にならなかつた例や、手段ばかりが先行した結果、家族間の行き違いから遺恨が残るケースもある。専門家の相談やアドバイスが必要だ。「あすか税理士法人」は、税理士11人が在籍するなど道内トップクラスの業容を誇る。傘下に「あすか行政書士法人」を擁し、税理士と行政書士が連携して終活に関わるプランニングを一体

的に提供できるのが特徴。節税対策や税務申告の代行から相続や贈与税のシミュレーション、家族信託などの財産管理対策から遺言書の作成まで担う。「終活は早めの対策が重要ですが、まず家族間でしっかりと話し合うことです。特に子から親に終活の話題を切り出すのはハードルが高いですが、私どもが介いたします。親と子、孫の3世代での終活を推奨しています」と相澤和利行政書士。

そこで札幌市中央区南1条西10丁目に、家族が集まれる「相続贈与相談サロン大通Forte」を構えた。落ち着いた雰囲気の中で相談が可能で、市電通り沿いのため交通の利便性も高い。遠距離の場合はZOOMなどオンラインにも対応する。近年、注目が高まる家族信託についても、道内外から年間50件近い相談を受託。家族間で信託契約を結ぶことで、生前の財産管理や遺言の代用ができるなど、終活には欠かせない存在だ。「終活は次世代のスタートです。残された人が安心して暮らせるかという観点から、エン

公式サイトから無料でダウンロードできる



ディングノートや遺言、成年後見制度の活用なども提案いたします」と中野研税理士。

終活の最初の一步として推奨するエンディングノートは、この春から同法人の公式サイトから無料ダウンロードできるサービスも始めた。

「家族が見えるところに置いて、終活の会話のきっかけにしてください。気負わず取り組んでほしい」と三浦大和行政書士。

相澤和利行政書士



中野研税理士



三浦大和行政書士

